

「獣医大学における生体を利用した実習での動物の取扱い」について

酪農学園大学の取組み

酪農学園大学は、

動物実験において「3Rの原則」を遵守している。

Reduction（実験に使用する数の削減）

Replacement（動物実験に替わる方法）

Refinement（苦痛の削減）

動物の飼育において「5Fの福祉（動物の5つの自由）」を遵守している。

Freedom from Hunger and Thirst 飢えや渇きからの自由

Freedom from Discomfort 不快からの自由

Freedom from Pain, Injury or Disease 痛み・傷害・病気からの自由

Freedom to behave normally 本来の行動をする自由

Freedom from Fear and Distress 恐怖や抑圧からの自由

新入生は、実学教育の一環を担う農場実習において、動物の飼育を通して目と手で「いのちの尊さ」を確かめることにより「3R」、「5F」を意識させている。農場実習前には本学動物実験委員会の教育訓練を受講させている。

講義では、「3R」、「5F」、動物福祉（アニマルウェルフェア）、動物愛護、実験動物倫理について解説している（シラバス参照）。※講義名をクリックするとシラバスへ移動します。

[畜産学総論（2年）](#)

[家畜行動学（2年）](#)

[キリスト教と生命倫理（2年）](#)

[家畜管理学（農類3年）](#)

家畜管理・栄養学実験Ⅰ（農類３年）

家畜管理・栄養学実験Ⅱ（農類３年）

実験動物学（農類４年）

獣医療概論（獣群１年）

動物倫理・動物福祉学（獣１年）

動物倫理・動物福祉学（獣２年）

実験動物学（獣３年）

獣医畜産法規（獣４年）

動物倫理・動物福祉学（看１年）

動物倫理・動物福祉学（看２年）

動物看護関連法規（看３年）

実習では、実習従事者は本学動物実験委員会の教育訓練を受講している。「３R」、「５F」に努め、模型、シミュレーターなどの代替による実技、と畜場材料（生体材料）を用いる実技を行なっている。さらに来年度、模型、シミュレーターなどを用い実技を練習する施設としてスキルラボを開設する。

動物医療において、侵襲性を限りなく低い状態で治療処置を行える技術を習得させている。